

the について

生徒からの質問が多いものの1つに「the Japanese government には、なぜ the がつくのですか?」というのがある。このような質問が出てくる背景には「the は、話者〔著者〕と聴者〔読者〕の間での暗黙の了解を指す」ということが理解されていないからであろう。a government は、中央政府のみならず地方自治体や州政府なども表現する。よって、government だから「政府」ということにはならないが、日本人が「政府は今日閣議でこの問題を話しあうことになっている」と聞けば、その「政府」は日本政府だと感じることであろう。よって、この「政府」を英語にするならば the (Japanese) government となる。つまり、日本国の中の中央政府であることを明示するために the Japanese government とする。同様のことが the Japanese economy 「日本経済」、the Japanese language 「日本語」にも当てはまる。一方、Japanese customs 「日本の習慣」や Japanese traditions 「日本の伝統」、Japanese cuisine 「日本の食事」などは、特定不可能と考えて the をつけることはない。

「熱帯魚を飼った経験」はどうだろう? the experience of keeping tropical fish なのか an experience of keeping tropical fish だろうか? これは、個人差があるだろうが、もし、固定したイメージ「熱帯魚用の水槽があって、泡を出すポンプがあって、藻がある」というものが念頭にあるならば、the experience of ... となるが、「さまざまな飼い方があり、到底特定できない」と考えるならば an experience of ... となる。

「環境を守る」も同様である。一言で「環境」と言っても、「職場環境」「家庭環境」などさまざまな「環境」があるが、「環境を守る」という場合には、おそらく「地球の自然環境を守る」ことだと考えられる。よって the (natural) environment ということになる。「その家は自然環境と釣り合いがとれていない」を英語にする場合は、もう少し面倒なことになる。この場合の「自然環境」は、「地球の自然環境全体」ではなくて「その家の周りの自然」をイメージするはずである。よって、The house is out of balance with its natural surroundings となる。